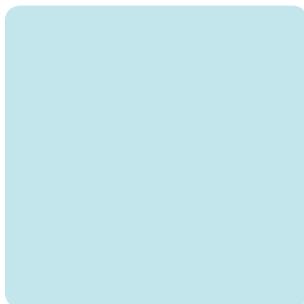
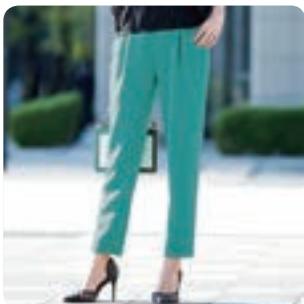


お客様の衣食住遊を豊かにする

BUSINESS REPORT

第44期 株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日



株式会社ベルーナ
BELLUNA

証券コード：9997





先行き不透明な状況が続くなか
「専門通販事業」など5セグメントで増収を達成。
今後も第四次経営計画の下で
主力4事業の強化を引き続き強固に図ります。

代表取締役社長 安野 清

■ 当社グループを取り巻く市場環境

日本経済は、内需に牽引される形で緩やかな回復基調が続いたものの、米中貿易摩擦や中東情勢等の地政学リスクの高まりに加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景にインバウンド需要の減少や経済活動が停

滞する動きもあり、先行きが不透明な状況が一段と高まり推移しております。

国内の個人消費につきましては、消費税増税や自然災害の影響による消費マインドの低下に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛等により、消費需要

が回復するには一定の時間を要すると考えられます。

通信販売業界におきましては、電子商取引（EC）による市場の拡大は依然として続いているものの、天候不順、自然災害の頻発に加え、足元では新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けており、商品カテゴリ毎に影響度はまだら模様の様相を呈しております。

■ 当期の概況

当期の売上高は1,799.5億円（前年同期比1.3%増）となりました。一方、用紙代高騰に伴うカタログ等の発行部数抑制の影響や前期に取得したさが美グループホールディングス（株）において、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映されている影響などで営業利益は103.1億円（同14.1%減）となりました。また、為替相場の変動による損益がマイナスとなり、経常利益は103.7

億円（同32.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は58.6億円（同43.3%減）となりました。

財政状況に関しましては、負債は前期末に比べ73.5億円増加し1,206.0億円となりました。これは長期借入金が増加したことなどによるものです。一方、総資産は前期末比で93.4億円増加し、2,231.3億円となりました。この結果、純資産合計は前期末比19.9億円増の1,025.3億円となり、自己資本比率は45.7%となりました。

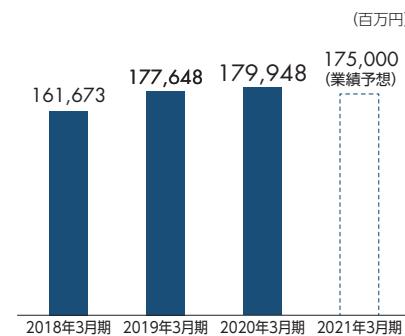
■ 第四次経営計画の進捗

当社グループは現在、2020年3月期から2022年3月期を対象とする第四次経営計画において、「総合通販事業の安定的な成長」「専門通販事業の拡大」「店舗販売事業の拡大と収益改善」「プロパティ事業の強化」に注力し、主力4事業の拡大・強化を目指しております。

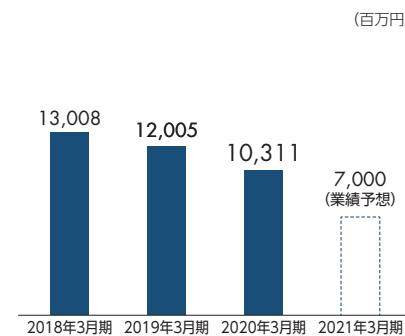
財務ハイライト

Financial Highlights

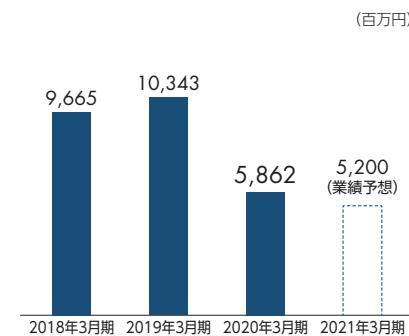
売上高



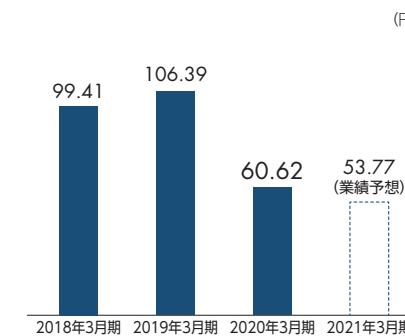
営業利益



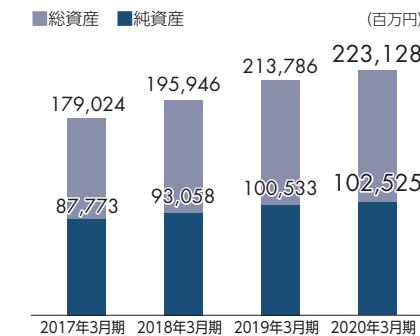
親会社株主に帰属する当期純利益



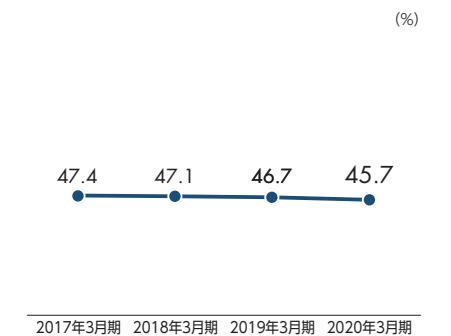
1株当たり当期純利益



総資産・純資産



自己資本比率



当期は、「専門通販事業」で化粧品事業、ワイン事業などにおける新規獲得と既存客のリピーターが好調で、売上高は497.7億円(前年同期比4.0%増)、セグメント利益は39.1億円(同19.8%増)となりました。「プロパティ事業」においても、前期開業のホテルが売上に寄与したことなどにより、売上高は86.9億円(同7.7%増)、セグメント利益は6.6億円(同168.7%増)となりました。

そのほか「ソリューション事業」で通販代行サービス事業及び封入・同送サービス事業が共に好調に推移し、売上高は83.3億円(同33.1%増)となりセグメント利益は26.5億円(同16.7%増)。「ファイナンス事業」も国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばし、売上高は44.0億円(同14.8%増)、セグメント利益は18.7億円(同6.5%増)といずれも好調に推移しました。

一方で、「総合通販事業」はカタログ用紙代の値上げによる影響等で減益し、売上高は733.8億円(同5.4%減)、セグメント利益は17.1億円(同55.1%減)となりました。「店舗販売事業」も、さが美グループホールディングス(株)の損益の反映などから、売上高は304.0億円(同8.0%増)となったものの、セグメント利益は3.1億円(同68.9%減)となりました。

また、その他の事業では、衣裳レンタル事業を展開する(株)マイムにおいて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い多くの卒業式が中止となりキャンセルが増えた影響などにより、売上高は59.4億円(同14.0%減)、セグメント損失は3.9億円(前年同期は2.4億円のセグメント利益)となりました。

■ 次期の見通し

今後の日本経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、先行きは一層不透明感が増しており厳しい環境が続くと考えられます。当社グループにおきましては、経営方針に則り、主力4事業の強化を引き続き強固に図り、収益性と成長性の一層の推進を目指して参ります。

2021年3月期は、売上高は1,750億円、営業利益は70億円、経常利益は78億円、親会社株主に帰属する当期純利益は52億円を見込んでおります。

現在の見通しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定しうる影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見通しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通しの変動する場合には、速やかにお知らせいたします。株主の皆様におかれましては、当社グループへの変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2021年3月期 予算について コロナ禍での取り組み

当社を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、先行き不透明な状況が継続すると予想されます。2021年3月期の予算については、上半期を中心に新型コロナウイルスによる影響を織り込んでおります。

具体的には上半期の業績予想は売上779億円(前年同期比△9.7%)、営業損失6億円(前年同期比△44.6億円)となっております。

特に影響を受ける部門としては総合通販、店舗販売事業、プロパティ事業であり、3事業で売上高106.5億円のマイナスを見込んでます。一方巣ごもり需要等により、影響を受けない、または追い風の部門もあり、特に専門通販、ファイナンス事業においては増収増益を見込んでいます。

2021年3月期 業績予想 (億円)

	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想	増減率
売上高	1,799.5	1,750.0	-2.8%
営業利益	103.1	70.0	-32.1%
経常利益	103.7	78.0	-24.8%
当期純利益	58.6	52.0	-11.3%

2021年3月期主に影響を受ける事業の上半期予算

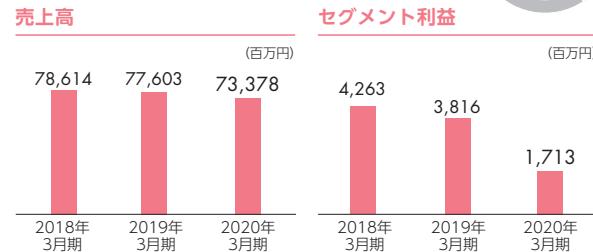
	総合通販事業			店舗販売事業			プロパティ事業		
	2Q累計		(億円)	2Q累計		(億円)	2Q累計		(億円)
	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想	増減	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想	増減	2020年 3月期 実績	2021年 3月期 予想	増減
売上高	360.2	329.0	-8.7%	156.7	98.1	-37.4%	44.5	27.8	-37.6%
営業利益	8.3	-10.4	-18.8	3.4	-24.9	-28.3	3.0	-3.5	-6.5

総合通販事業

カタログやインターネットなどを媒体とする
衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売および関連事業



用紙代の値上げに伴うカタログ等の発行部数抑制の影響などにより、売上高は733.8億円(前年同期比5.4%減)となり、セグメント利益は17.1億円(同55.1%減)となりました。



専門通販事業

食料品・化粧品・健康食品の販売など、
特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業



化粧品事業、ワイン事業を中心に好調に推移し、売上高は497.7億円(同4.0%増)となり、セグメント利益は39.1億円(同19.8%増)となりました。



店舗販売事業

衣料品・和装関連商品等の店舗販売事業



前期に取得したさが美グループホールディングス(株)において、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映される影響などで、売上高は304.0億円(同8.0%増)となったものの、セグメント利益は3.1億円(同68.9%減)となりました。

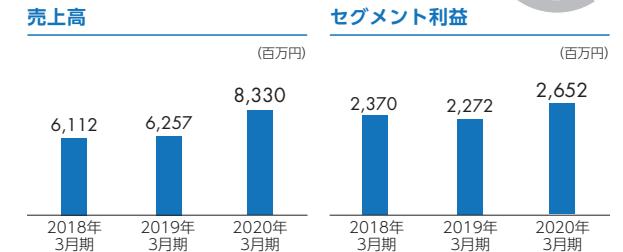


ソリューション事業

封入・同送サービスや通販代行サービスなど、
当社グループのデータベースやインフラを活用した受託事業



通販代行サービス事業及び封入・同送サービス事業が共に好調に推移し、売上高は83.3億円(同33.1%増)となり、セグメント利益は26.5億円(同16.7%増)となりました。

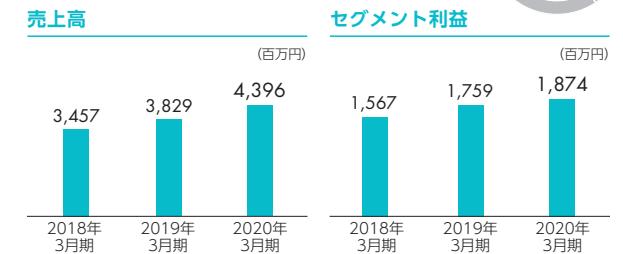


ファイナンス事業

通信販売事業の顧客を中心に展開する
B to C ファイナンス事業



国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は44.0億円(同14.8%増)となり、セグメント利益は18.7億円(同6.5%増)となりました。

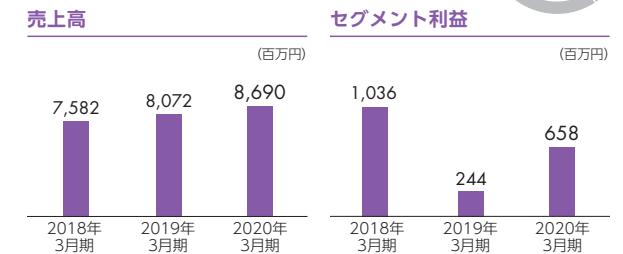


プロパティ事業

オフィスビルなどの賃貸および再生・開発を手掛ける
不動産事業、およびホテル事業



前期に開業したホテルが売上に寄与したことなどにより、売上高は86.9億円(同7.7%増)となり、セグメント利益は6.6億円(同168.7%増)となりました。



ワイン専門通販 My Wine CLUB 11年連続通販国内売上高NO.1! & 楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2019初受賞!



当社のワイン専門通販「My Wine CLUB (マイワインクラブ)」は、東京商工リサーチの2018年度「国内ワイン通販市場シェアに関する調査」で、11年連続の通販国内売上高1位を獲得しました。これを受け、昨年秋より特別セットをご用意して特別感謝セールを行ってまいりましたが、ご好評につき今年2月にセット内容をリニューアルしてセール*を継続しています。

また、オンラインモール「楽天市場」に出店している「My Wine CLUB 楽天市場店」は、4万点以上のショップから選出される「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2019」において、各ジャンルのベストショップを決めるジャンル賞の「ワインジャンル」を初受賞いたしました。



My Wine CLUB の主な特長

URL▶<https://mywineclub.com>



世界17カ国から直輸入

スタッフが直接現地ワイナリー等と交渉を行い、買い付けをしています。そのため卸や商社を通ず、通常の仕入れで発生する中間マージンがカットでき、高品質のワインを格安にお届けできます。直接生産地に赴くことで、日本の市場に出回らない傑作をご紹介します。味の確認はもちろん、気候、風土、土壌や、ぶどうの木の状態なども確認し、ワイナリーでの品質管理・保存状態なども厳しくチェックしています。



すべてソムリエとスタッフで監修・厳選

スタッフが仕入れたワインを専属ソムリエ2名が1本1本テイastingし、厳選しております。磯本修二氏は、日本のワインレストランの草分け的存在「ミスター・スタンプス・ワインガーデン」オーナー・ソムリエ。ワイン情報誌執筆や講演などで活躍しています。各務寛子氏はワインスクール講師やレストランでの経験を持ちソムリエールとして10年以上活躍しています。

お客様第一主義

日々寄せられるお客様のお声は一つ一つ目を通させていただき、商品やサービスに活かせるように努めています。また、お客様のお手元に届くまで自社倉庫による徹底したワインの管理をしております。



※当該セールは終了している可能性があります。

シンガポールで医療機関向けの人材の紹介・派遣事業を展開する JOBSTUDIO PTE.LTD.を子会社化

当社は2020年1月、シンガポールの医療機関向けに人材の紹介・派遣事業を行うJOBSTUDIO PTE.LTD.の全株式を取得し子会社化しました。同社は有力医療機関への人材の紹介・派遣を通じ成長した信頼とブランド力を保有する企業です。看護師向け商品販売や看護師人材紹介を手がける当社グループに同社を迎え入れることは、アジアでの医療関連事業の展開やアジアから日本への人材紹介事業等展開の可能性を踏まえ、企業価値向上に資すると判断し株式取得を実施しました。



「ベルーナグルメ 楽天市場店」が 楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2019初受賞

グルメ専門通販「ベルーナグルメ」が、オンラインモール「楽天市場」に出店している「ベルーナグルメショッピング 楽天市場店」は、「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2019」において、「日本酒・焼酎ジャンル」のベストショップを決めるジャンル賞を初受賞しました。これを記念して、お客様へご愛顧感謝の気持ちを込め、人気商品が最大2,000円引きとなるクーポンを配布する記念セール*を2020年2月より開催いたしました。 *現在は終了しています。



URL▶<https://www.rakuten.ne.jp/gold/belluna-gourmet/>

「べるーにゃ」ぬいぐるみプレゼント& LINEカスタムスタンプの発売もスタート

オンラインショップ「ベルーナネット」では、2019年秋よりベルーナ公式キャラクター「べるーにゃ」のぬいぐるみプレゼントキャンペーンを実施しており、2020年3月には第4弾としてちょっと困り顔の「べるーにゃ」のぬいぐるみを50名の方にプレゼントさせていただきました。また、同月から「べるーにゃ」のLINEカスタムスタンプの発売も開始されています。お好きな文字を入れて、お友達や家族の皆様とのトークをお楽しみください。



ダウンロードURL▶<https://line.me/S/sticker/10985640>

優待内容

1 優待券、優待クーポンまたは自社取扱商品から選択

①当社運営の通信販売で使用できる優待券 ②ペルーナネットで使用できる優待クーポン ③自社取扱の食品またはワイン



2 「裏磐梯レイクリゾート(旧裏磐梯猫魔ホテル)」で利用できる宿泊優待券



3 「ルグラン旧軽井沢」で利用できる宿泊優待券



保有株式数	1 優待券または自社取扱商品から選択	2 裏磐梯レイクリゾート優待券	3 ルグラン旧軽井沢優待券 ^{*3}
100株以上 500株未満	① 1,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ② 1,000円分のネット専用優待クーポン ③ 1,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券1枚	宿泊優待券1枚
500株以上 1,000株未満	① 3,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ② 3,000円分のネット専用優待クーポン ③ 3,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券2枚	宿泊優待券1枚
1,000株以上	① 5,000円分の通信販売 ^{*1} 優待券 ② 5,000円分のネット専用優待クーポン ③ 5,000円相当の自社取扱の食品またはワイン ^{*2}	宿泊優待券4枚	宿泊優待券1枚

*1 衣料品、生活雑貨、家具等を販売する総合通販をご利用いただけます。

*2 自社取扱の食品またはワインは、当社が選定した商品をお送りいたします。商品をカタログから選ぶことはできません。

*3 ルグラン旧軽井沢の宿泊優待券は、年1回(12月上旬発行分)のみの贈呈となります。

*4 株主優待のご利用方法の詳細については、贈呈時にご案内いたします。

発送時期・有効期限

	発送時期	有効期限
中間	12月上旬	12月1日～6月30日
期末	6月下旬	7月1日～12月31日

対象となる株主様

毎年3月末および9月末の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1单元)以上保有の株主様

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2019年3月31日現在	当連結会計年度 2020年3月31日現在
資産の部		
流動資産	99,244	103,683
固定資産	114,542	119,445
有形固定資産	83,204	88,651
無形固定資産	11,253	11,827
投資その他の資産	20,084	18,966
1 資産合計	213,786	223,128
負債・純資産の部		
流動負債	53,463	50,135
固定負債	59,790	70,467
2 負債合計	113,253	120,602
株主資本	102,215	106,253
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,954	10,954
利益剰余金	80,816	85,177
自己株式	△167	△491
その他の包括利益累計額	△2,385	△4,363
非支配株主持分	703	636
純資産合計	100,533	102,525
負債純資産合計	213,786	223,128

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

POINT

1 資産合計

前期末に比べ9,341百万円増加しました。これは主に、流動資産における営業貸付金、仕掛販売用不動産、固定資産における機械装置及び運搬具が増加したことによるものです。

2 負債合計

前期末に比べ7,349百万円増加しました。これは主に、流動負債において短期借入金、未払法人税等が減少したものの、支払手形及び買掛金が増加したこと、また、固定負債において、長期借入金が増加したことによるものです。

3 売上高

消費税増税や相次ぐ自然災害の影響による消費マインドの低下に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うインバウンド需要の減少や個人の消費マインドの低下がみられるなか、主力4事業(総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業)を強化した結果、前年比1.3%増となりました。

4 営業利益

カタログ用紙代の値上げによる影響や、前期に取得したさが美グループホールディングス(株)において、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映されている影響などで、前年比14.1%減となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2018年4月1日～ 2019年3月31日	当連結会計年度 2019年4月1日～ 2020年3月31日
3 売上高	177,648	179,948
売上総利益	101,364	105,062
販売費及び一般管理費	89,359	94,751
4 営業利益	12,005	10,311
営業外収益	3,718	1,058
営業外費用	414	1,004
経常利益	15,309	10,365
特別利益	414	312
特別損失	255	1,121
税金等調整前当期純利益	15,468	9,557
法人税、住民税及び事業税	5,476	3,799
法人税等調整額	△308	△90
当期純利益	10,300	5,848
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△43	△13
親会社株主に帰属する当期純利益	10,343	5,862

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2018年4月1日～ 2019年3月31日	当連結会計年度 2019年4月1日～ 2020年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,558	6,624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,724	△11,108
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,577	5,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	△88	△286
現金及び現金同等物の増減額	△677	941
現金及び現金同等物の期末残高	21,351	22,292

(百万円未満を切り捨てて表示しています。)

詳細な財務情報は、当社Webサイト「株主・投資家情報」をご覧ください。

ペルーナ IR

検索

会社情報 (2020年3月31日現在)

Corporate Information

会社概要

会社名	株式会社ベルーナ (Belluna Co., Ltd.)		
資本金	106億12百万円		
創業	1968年9月		
設立	1977年6月		
従業員数	3,297名 (連結)		
事業内容	カタログ等による通信販売を核に、受託、金融、卸売等の分野で展開する通信販売総合商社		

役員

代表取締役社長	安野 清	取締役 (監査等委員)	萩原 康雄
取締役	安野 雄一郎	社外取締役 (監査等委員)	渡部 行光
取締役	穴戸 順子	社外取締役 (監査等委員)	山縣 秀樹
取締役	下川 英士		
取締役	松田 智博		

主な事業所

本社	(埼玉県上尾市)
本館	(埼玉県上尾市)
東京本部	(東京都中央区)
渋谷オフィス	(東京都渋谷区)
アネックスビル・第2アネックスビル	(埼玉県上尾市)
北関東支店	(埼玉県鴻巣市)
川越オーダーレセプションセンター	(埼玉県川越市)
春日部オーダーレセプションセンター	(埼玉県春日部市)
吉見ロジスティクスセンター	(埼玉県吉見町)
領家丸山流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
領家山下流通システムセンター	(埼玉県上尾市)
宇都宮流通システムセンター	(栃木県鹿沼市)

株式の状況

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	97,244,472株
株主数 (除く自己名義)	12,567名

大株主

	持株数 (千株)	持株比率 (%)
(株)フレンドステージアセットマネジメント	33,920	35.1
安野 清	9,947	10.3
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	6,496	6.7
日本トラスティ・サービス信託銀行 (株) (信託口)	5,138	5.3
安野 公	2,914	3.0
日本マスタートラスト信託銀行 (株) (信託口)	2,621	2.7
(株)三井住友銀行	2,246	2.3
野村信託銀行 (株) (退職給付信託三菱UFJ銀行口)	1,968	2.0
ベルーナ共栄会	1,749	1.8
みずほ信託銀行 (株) 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行 (株)	1,546	1.6

※持株比率は自己株式 (587,369株) を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況

金融機関	個人投資家	事業会社	外国人
19.1%	23.5%	36.4%	20.0%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	3月31日
株式の売買単位	100株
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載 URL https://www.belluna.co.jp/irinfo/stock/announcement/

株主名簿管理人	
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
お問い合わせ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-288-324 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部

株式会社 **ベルーナ**

〒362-8688 埼玉県上尾市宮本町4番2号

TEL 048-771-7753 (代表) <https://www.belluna.co.jp/>

